



五所川原高校吹奏楽部の生徒たち



楽器を手に笑顔を見せる「ソリソン中泊吹奏楽団」の団員たち

「すべし、何回かしかがいて思つたので楽しみ。たまたまの出来事だ」。中泊町の中里中学校吹奏楽部長の田中麻友さん（2年）は、アウトリーチ決定の知らせに目を輝かせた。同中体育館が会場となる演奏会には、町内全ての小中学校の児童・生徒とPTA関係者が参加する。応募した同町の演習室長は「演奏家の息づかいまで感じられる生演奏に触れる経験は、子どもたちの感性を育み、未来への夢や希望を抱く大きなきっかけになる」と喜ぶ。

## 五所川原高校

青い海と森の音楽祭のアウトリーチ会場に選ばれた五所川原市の五所川原高校（杉森晋校長）は、音楽主幹を務めるプロの歌手・隠岐彩夏さんの母校。国内外で活躍する先輩の「凱旋」公演が決まり、後輩たちも「プロの演奏、隠岐さんの歌声を目の前で聴けるのが楽しみ」と期待を寄せている。

## 隠岐さんの「凱旋」歓迎

「学びたい」と話した。部員の田中真裕さん（2年）は、小学生のときに山形交響楽団の青森公演を聴いて感動し、吹奏楽部に入った。プロの演奏に触れて音楽を始めた一人で「近い距離で聴けるなんて人生で一回あるかないか。（芸術総監督）沖澤のどかさんの指揮を見られるのも楽しみ」と笑顔を見せた。アウトリーチに応募したのは、クラシック好きの川口智教諭（64）。自身も魅了された隠岐さんの歌声を生徒にも聴かせたいと前から思っていた。昨年、沖澤さんの母校である青森東高校（青森市）でアウトリーチが行われたことも応募の決め手になったといい、「やった」という気持ち。五所川原でプロの演奏を聴けることはなかなかないのでうれし」と話した。（秋村有香）



青い海と森の音楽祭

10/31-11/8

# 一流の音 私の街にも

2年目を迎える「青い海と森の音楽祭2026」（10月31日～11月8日）。昨年より会期を長くし、音楽家たちがより多くの県民に一流の演奏を届ける。音楽祭の開幕を告げるアウトリーチ（出前演奏会）では初めて会場を公募し、県内の小中学校や高齢者施設などから応募が寄せられた。書類審査を経て中泊町や五所川原市、八戸市などに決定。音楽家8人が各地に赴き、子どもたちや地域住民らと音楽を通じて感動の瞬間をともにする。【1面参照】

## 中泊町・中里中学校

「すべし、何回かしかがいて思つたので楽しみ。たまたまの出来事だ」。中泊町の中里中学校吹奏楽部長の田中麻友さん（2年）は、アウトリーチ決定の知らせに目を輝かせた。同中体育館が会場となる演奏会には、町内全ての小中学校の児童・生徒とPTA関係者が参加する。応募した同町の演習室長は「演奏家の息づかいまで感じられる生演奏に触れる経験は、子どもたちの感性を育み、未来への夢や希望を抱く大きなきっかけになる」と喜ぶ。

## 町内の児童生徒が参加

では昨年、同部を中心に他校生や一般の大人も参加できる「ソリソン中泊吹奏楽団」が誕生した。楽団名はイタリア語で「笑顔」を意味する「SORRISO（ソッリーソ）」にちなみ当初は大半が中学生だったが、輪は広がって、今では団員27人の約半分以上が大人となっている。アウトリーチには団員も招かれる予定だ。同楽団の音楽監督である高橋和久・中里中教諭（61）は「沖澤さんへの指揮は、指揮者のものが美しく、とても勉強になる」と話し、「世界的な指揮者とプロの方の演奏を聴けるのは子どもたちにとって良い経験になる。私もすごく楽しみ」と期待。アウトリーチを吹く小田原仁美さん（51）も「生で聴いたとき、自分は何かを感じるのだからとワクワクしている」と声を弾ませた。（藤本耕一郎）

## サンロード青森

### 昨年大盛況、今年も

昨年の青い海と森の音楽祭のアウトリーチで一般観客が唯一可能だった青森市のサンロード青森。会場には約700人の市民が詰めかけ、大きな感動と拍手に包まれた。「多くの人に音楽を届ける」という音楽家たちの願いのもと、今年も同会場がアウトリーチが行われる。昨年は開場前から市民らが列を作り、ステージを囲むように2階まで大勢の観客で埋め尽くされた。青森市出身の沖澤のどかさんによる「地元トーク」も盛り上がり、笑いが起る場面も。アウトリーチならではの気軽で距離の近い交流が今年も見られそうだ。



サンロード青森で昨年行われたアウトリーチ =2025年7月3日、青森市



← 昨年の様子はこちらから

## 8人の音楽家が再集結

聴衆と間近で交流できるアウトリーチでは、音楽家たちが特別な思いを込めたプログラムを用意する。出演は青森市出身で芸術総監督の沖澤のどかさん、五所川原市出身で音楽主幹の隠岐彩夏さんら昨年と同じ8人のメンバーが再び揃う。

2人のほか、出演は、バイオリンの矢部達哉さん、ピアノの横山幸雄さん、青森市出身でコントラバスの高橋洋太さん、バイオリンの北田千恵さん、ピエラの鈴木康浩さん、チェロの佐藤晴真さん。

昨年のアウトリーチでは有名クラシックや童謡などを披露。曲ごとに編成を変え、それぞれの楽器の特徴や歌声を堪能できる内容だった。学校では校歌をサプライズで演奏して子どもたちと合唱するなど、粋な演出も会場を盛り上げた。



2025年6月30日、東通村

芸術総監督  
沖澤のどかさん



©Felix Broede

前回は先々で物語が生まれ、音楽の喜びと感動を至近距離で分かち合えたアウトリーチ公演。今回はどんな出会いが待っているのか、心から楽しみます。特に中泊町を訪れるのは初めてなので、どんな町でどんな子供たちに出会えるのか、待ち通りです。

出演メンバーの素晴らしい演奏には私もいつも感動して心を動かされるので、今後より多くの方々に音楽を届けたいという気持ちが高まっています。

アウトリーチは、私たち演奏家にとっても特別な体験で、前回こちらが音楽を届ける以上に多くの喜びや感動をいただき、音楽は双方向のコミュニケーションなのだ改めて気が付きました。それぞれの会場でどんな化学反応が起こるのか、今から楽しみで仕方ありません。

音楽主幹  
隠岐彩夏さん



©Ryo

アウトリーチはこの音楽祭の原動力です。バスで皆さんのいる場所へ向かう道中は、美しい青森県の景色を再認識できました。普段過ごされている場所でのリラックスした空気感、私たちの演奏そのものにも心地よい影響がありました。

普段なかなかホールへ足を運ぶことが難しい方にも、音楽を直接届けたいという思いで続けています。その日、その場所、その人たちがどう生まれる時間がきっとあると思っています。

クラシックというと少し身構えてしまう方もいるかもしれませんが、難しいことは抜きにして、「なんだか楽しかったな」と思っていたら、それが一番うれしいです。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。